

あわら市図書館資料収集方針（案）

1 目的

あわら市図書館は、市民の知る自由を保障し、市民文化の創造・発展に貢献するために市民生活に役立つ資料と情報を提供する役割を負う。この方針は、そのために必要な資料収集の基準を定めることを目的とする。

2 基本方針

図書館資料の収集にあたっては、市民サービスが十分に図られ、地域文化の発展と住みよい地域社会の形成に寄与することを前提に実施し、次に掲げる事項に留意する。また、社会を取り巻く状況や価値判断が時代とともに変化することを考慮し、必要に応じて見直すものとする。

- (1) 図書館は市民の知る自由を社会的に保障する機関であるため、あらゆる思想、信条、学説、宗教に対して、資料を公平かつ幅広く収集する。
- (2) 利用者の要求および社会的動向が反映されるよう配慮し、市民の調査・研究、レクリエーション等に資するため、あらゆる年齢層を対象として、各分野にわたり、一般的なものから専門的なものにいたるまで幅広く収集する。
- (3) 資料の収集方法は、購入のほか、寄贈、交換、寄託などの手段を活用し、最も迅速かつ的確な方法で収集する。
- (4) 資料の収集にあたっては、中立の立場で広い視野に立つとともに、次の点に特に留意する。
 - ア 多様な意見、または対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集する。
 - イ 多量に出版されている類似的資料については、書誌的価値の高い資料を収集する。
 - ウ 著作者の思想、宗教、党派等の立場を排除の判断基準にしない。
 - エ 図書館員の個人的な関心や好みによる選択はしない。
 - オ 他からの圧力や干渉によって、公正で自由な判断による収集を放棄したり、自己規制したりしない。

令和3年度方針

(令和3年4月1日適用)

| 館名 | 年度方針 |
|-------|--|
| 芦原図書館 | ◎児童書 読書に親しんでもらえるよう、実施している団体貸出に対応できる図書を多岐にわたって収集する。 ◎一般書 年齢を問わず利用が多いスマホ・パソコン関連書及び文学書を収集する。 |
| 金津図書館 | ◎児童書 読書の楽しみの発見と読書習慣の形成及び継続に資するため基本図書とされる絵本（恐竜、昆虫）・物語に重点をおいて収集する。 ◎一般書 年齢を問わず利用が多い実用書（旅行、手芸、料理、園芸、インテリア）及び高齢者などにも読みやすい大活字本に重点をおいて収集する。 |